



六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。(毎月第3日曜日に掲載します)

六甲サーカスペース

摩耶・六甲間に新拠点

六甲山ビジターセンター・記念碑台前に7月、グランドオープンした「六甲サーカスペース」。「六甲山から環が生まれる基地」を目指し、カフェやレンタル自転車のサービスを提供している。



摩耶・六甲エリアの中間にお目見えした六甲サーカスペース

カフェスペースでは、カレーやパスタなどリーズナブルな食事を用意。ドリンクは350円から。テイクアウトも可能で、テラス席はペットも同伴できる。現在は夏季限定で3種のかき氷(いちごミルク、抹茶ミルク、白くま)を販売中。

また勾配のある山道も気軽に散策できるよう、電動自転車をレンタル。行動範囲の制限もないため、摩耶・六甲間の新たな移動手段として活躍が期待される。公式サイトから事前予約もでき、レンタル料は2200円から。

8月は月・金曜定休。営業時間は午前11時～午後6時(ラストオーダー同5時)。各種SNSで最新情報を配信中。☎078・862・5750

六甲山アスレチックパーク GREENIA

子どもも大人も本気で挑める

自然に囲まれた「六甲山アスレチックパーク GREENIA(グリーンア)」では、約23万平方メートルの広大な敷地でさまざまなアスレチックが体験できる。7エリア、174ポイントに上るアスレチックの数は日本最大。入場者数も40万人を突破した。

中でも人気動画クリエイターのフィッシャーズが監修した4エリアは、遊びの工夫が盛りだくさん。子どもから大人まで本気で挑めるアスレチックになっている。

残暑の厳しい今の季節は、水上アスレチックが大人気。山の冷たい水を浴びながら楽しめる。約150平方メートルの人工雪の広場や冷感ジップスライドなど、ひんやり感たっぷりの期間限定イベントも開催中だ。

もちろん気温の落ち着く秋には、アスレチックのベストシーズンを迎える。レストランやおみやげ、スタンプラリーなど、気になる最新情報は公式サイトをチェック! ☎078・891・0366



フィッシャーズ監修の映えスポット「ゲームの中に飛び込んで」

六甲山牧場

スプラッシュエリアで涼もう

お盆が過ぎて夏休みも大詰めだけど、まだまだ暑い夏を涼しく乗り切ろう! 六甲山牧場には新たに「スプラッシュエリア」が誕生。この時期にぴったりの水遊びが存分に楽しめる。



スプラッシュエリアでカウボーイと決闘!

8月中の土・日曜に開催。馬に乗ったカウボーイが水鉄砲をもって登場するかも。びしょぬれになってもいいように、着替えを持参しよう。ほかに射的や縁日のコーナーもある。

27日には新しくできたカウボーイエリアでミニボニーショーを実施。ウエスタンの雰囲気あふれる新エリアで、カウボーイと馬たちが迫力満点のショーを繰り広げる。28、29日には小動物との写真撮影会も。とってもかわいいので、ぜひ会いに来てね。☎078・891・0280

ハイカーの拠点 新神戸に



登山靴やポール、バックパックなどのレンタルがあり、大型荷物も預かってもらえる。虫除けや地図などの販売もあり

登山用品販売や道案内、荷物預かりも

東西約30キロ、南北約10キロ、神戸のまちの背後に細長く伸びる六甲山は、周囲のすべてが市街地に囲まれている。西は神戸市東は芦屋市、西宮市、宝塚市、多くの人が住む住宅地の中にそそり立つ、1千以上の山塊である。

国土の約7割が山地の山岳国日本においても、これだけ人口が密集する都市部に、これほどの山がある例はあまりない。街に囲まれているにもかかわらず、交通の便がよいということ、六甲山はどこからでも登れて、どこへでも下りられるのが大きな特徴となっている。ただ、登山口がわかりにくいことが多い。複雑な住宅街の奥に新神戸駅を起点として、短時間で

あつたりするからだ。住宅街で迷うことも珍しくない。7月下旬、新神戸に六甲登山のための案内所がオープンした。神戸市が進める「神戸登山プロジェクト」の一環だとか。

場所は、地下鉄駅と、新幹線駅を結ぶ動線上で、バス乗り場があるグランドフロアの一角。山小屋風のかわいらしい造りで、神戸に本社がある好日山荘のスタッフが詰めている。ちよつとした登山用品のレンタルと、荷物の一時預かり、案内業務に対応、物販も行っている。レンタルに際しては、観光やビジネス客を想定していると思うのだが、この立地ならではのサービスだと思う。

新神戸駅を起点として、短時間で歩けるコースはいくつもある。平安時代から知られる名勝・布引滝までなら、滝横の「おんたき茶屋」でお茶を楽しんでも1時間半程度。山城(山崎)なら新神戸駅のすぐ真手に「山城(瀧山城址)」があるし、緑陰が心地よい北野道を歩いて異人館街を目指すこともできる。登山靴が必要かどうかはコースによるけれど、六甲山麓には「ちよつと体験」的に歩いてみることもできるコースがたつさんあることを知ってもらおうよい機会になると思う。

地元のハイカー的のありがたいのは、行動食や日焼け止めなどのちよつとした登山用品、登山地図も扱っている点。また、地元の銘水「神戸ウォーター 六甲布引の水」が量り売りで買えるのがうれしい。冷水もお湯もあるので、ゼビマイボトルを持参で。ガイドツアーや講習会などのイベントも開催予定だそうなので、気軽に立ち寄ろう。



新神戸駅近くで採水されている「神戸ウォーター 六甲布引の水」はとても美味しい



店長の石井洋之さん。山へ行く前にも立ち寄るの場所を指し指します

トレイルステーション神戸(JR新神戸駅構内) 8時半～17時半(13時は休止)。祝日は除く火・水曜休み。 ※12月2日は金・日曜と祝日の9～16時のみ営業 ☎078・891・0366



◆六甲山の自然はなぜ素晴らしいのか 9月9日9時40分、六甲山ビジターセンター前集合(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「記念碑台」)。午前は同センター周辺の自然を観察し=写真、午後は自然と触れ合うゲームを体験する。午前の講師は元京都光華女子大教授菅井啓之さん、午後は公認ネイチャーゲーム指導者。弁当、飲料水、雨具、メモ帳などを持参。無料。先着30人(大人・保護者同伴の子供)。六甲山自然案内人の会ホームページのお問い合わせページ、電話などで8月31日までに申し込む。雨天時は10日に順延。同会・田丸さん☎090・6754-0369

◆甲山ファミリー自然教室 9月17日10時～14時半(受け付けは14時まで)、県立甲山森林公園管理事務所前集合(阪神「西宮」駅から阪神バス鷺林寺循環線「県立甲山森林公園前」)。親子で一緒に

◆アートとのんびり森の音オータムフェア「演奏家のいないオータムコンサート」/特集タイム「森の音ジャズフェア」 8月26日～11月23日9時～17時(受付終了16時半)。ROKKO 森の音ミュージアム(六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「ミュージアム前」)。秋に



に自然の材料を使って工作=写真=するほか、園内を歩き樹木などについて学ぶ。講師は武庫ネイチャークラブのメンバー。無料。予約不要。雨天決行。同公園管理事務所☎0798・73・4600

◆「植物園で牧野富太郎」 in 森林植物園展 10月9日まで9～17時。神戸市北区、市立森林植物園。世界的にも有名な植物学者・牧野富太郎を紹介する展示会。無料(別途入園料、駐車料が必要)。予約不要。同植物園☎078・591・0253



催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

社会貢献活動の推進



↑2017年に重要文化財に指定された「聴竹居」

竹中工務店は、「飛び出そう、地域社会へ」をスローガンに、地域の様々なステークホルダーと連携し、地域教育活動への支援、地域交流の場への参画、企業財団活動などへの支援を通じた建築文化の継承と発信を行い、次世代を担う人材の育成と地域の発展に努めています。

建設事業における活動事例のひとつは、自社の研修施設を活用した学生向け教育プログラムへの協力です。兵庫県川西市にある「竹中技術実務研修センター」は、「見て、触れて、体得する」体験型研修を重視した施設で、社員の教育・研修だけでなく、建築技術を理解してもらうため、建築系の学生などを対象としたカリキュラムを設定し、研修を行っています。2022年は大阪大学など4校に実施し、教員の民間企業研修も受け入れました。他には、当社が保有する重要文化財「聴竹居」の保存と公開を行っています。「聴竹居」は京都府大山崎町に遺る昭和初期を代表する木造モダニズム建築で、当社設計組織の黎明期に在籍後、京都大学で教鞭を執った藤井厚二が環境工学の成果を活かした5回目の自邸です。3年にわたった本屋・閑室・茶室の保存修理、防災施設と外構庭園の整備が完了し、9月から全面公開活用が始まります。



想いをかたちに 未来へつなぐ

わたしたちは 六甲山大学 の活動を応援しています

